**平成２７年度事業報告**

自　平成２７年４月 １日

至　平成２８年３月３１日

はじめに

定款に掲げる「真に豊かな環境共生都市長岡の創造」の具体の実現をめざした諸事業と共に長岡市信濃川景観整備計画（仮称）策定委員会の示す「河川空間の保全・育成・活用の考え方」を基本として、懸案とされていた信濃川河川空間エリアの整備活動元年と位置づけ活動を推進しました。

１、緑化事業の推進

長岡市総合計画「四つの基本方針」に則り、自然環境の保全と人々の生活の共存を目指し、関係機関や地域と一体となった緑化事業に取り組みました。

　　①自然環境の保全と合わせて、公共緑地の良質な景観創出のための環境整備を推進しました。

　　②長岡みどりフェスタ・長岡市花いっぱいフェアを通じて緑化普及啓発活動に取り組みました。

２、豊かな緑を守り育てる事業の推進

緑豊かで生物多様性の高い自然環境の再生を目指し、以下の事業に取り組みました。

　　①公園、緑地の保全活動。

・地域の緑化レベルの向上のために関係諸機関と連携し、市民への啓発並びに必要なアドバイスを行うと共に、地域単位での具体的問題対応に積極的に取り組みました。

　　②生物多様性の高い自然環境再生への取り組み。

・山古志、柿地区で里地里山の自然環境保全に資するコミュニティー活動を支援しました。

・国土交通省の認定による「河川協力団体」として、北陸整備局信濃川河川事務所管内での河川敷内ビオトープに向けての調査並びに実施計画を立案しました。

　　③歴史的価値のある緑と景観の保護。

越路もみじ園を始め市内に現存する古木、衰弱木等の保存・再生に取り組みました。

３、市民による自然環境保護活動への支援

協会の理念とする「緑のゼロエミッション」を推進しながら、緑化の専門的知見を活かし、市民が取り組む自然環境保護活動の支援をしました。

　　①地域の自然を活用した環境学習への支援。

②老衰弱木など貴重な緑の遺産の保護。

　　③剪定枝のチップ材や刈り草等を活用した緑のゼロエミッションの推進と市民への還元。

４、震災復興への継続支援

中越みどり復興アクションが進める「縄文ぶな街道ものがたり運動」を「山古志フィールドミュージアム」と「油夫縄文の森」を拠点に継続して支援しました。

５、定款に示す事業に関する業務の受託

定款に則り、緑地保全等に関する業務を受託しました。

６、広報活動

市域唯一のみどりの公益法人として「真に豊かな環境共生都市長岡の創造」をテーマとして、市民との協働力をさらにアピールした広報活動に努めました。